



制約事項

- [Windows 版 Cisco Jabber](#) (1 ページ)
- [Mac 版 Cisco Jabber](#) (10 ページ)
- [Android 版 Cisco Jabber](#) (14 ページ)
- [iPhone および iPad 版 Cisco Jabber](#) (18 ページ)

Windows 版 Cisco Jabber

これらの制限は、Windows 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての Windows 版 Jabber 展開に適用されます。

スクリプトを使用した貼り付け操作の許可

Jabber バージョン 11.8.5 以降では、**Windows コンポーネント > Internet Explorer > インターネットコントロールパネル > セキュリティページ > インターネットゾーン**で Internet Explorer に対して、スクリプトを使用した貼り付け操作を有効にするポリシーが有効になっている場合、[コピー/貼り付け] で問題が発生する可能性があります。

プロキシの自動検出 (WPAD) の設定

Cisco Jabber は、Web プロキシ自動発見 (WPAD) プロキシ検出をサポートしていません。Cisco Jabber のプロキシ設定を構成する方法については、『Cisco Jabber のオンプレミス展開ガイド』の「プロキシ設定の構成」を参照してください。

Bluetooth 接続を Cisco ヘッドセット 56x 使用する場合、サポートされません

Cisco Jabber では、モデル 56x Cisco ヘッドセットで Bluetooth の使用がサポートされていません。これらのヘッドセットは、USB-C から USB コネクタケーブルに使用できます。

着信転送

サードパーティーへの着信を転送する場合は、転送を完了する前にサードパーティーが着信に応答する必要があります。現在、コールの接続待機中にサードパーティーにダイヤルしてファーストパーティーと接続(ブラインド転送とも呼ばれます)することはできません。

リリース 12.7(1)では、Cisco Jabber は、転送中のコールが保留中であることを、ユニファイドコミュニケーションマネージャに正しく通知することはできません。この動作によって、Jabber を Cisco Finesse と併用すると、誤ったレポートが生成されます。

画像をコピーできません

Jabber での会話のイメージ上で右クリックし、コピーを選択することはできません。代わりに、イメージを強調表示し、右クリックしてコピーします。

チャット返信とボイスメール プロファイルなし

ボイスメール プロファイルが設定されていない場合、チャットの返信機能は機能しません。チャット返信を着信呼び出しで選択した場合、コールの着信音が引き続き鳴り、リング、チャット返信、答えオプションがグレー表示されます。CSCux75667 では、この制限を文書化しています。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント

Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco AnyConnect セキュリティで保護されたモビリティ クライアント バージョン 4.0 以降をサポートしています。CSCux14721 では、この制限を文書化しています。

Cisco IP Communicator

Cisco IP Communicator は、ユーザがコールにデスクフォンを使用することを選択した場合、Jabber 上の制御対象デバイスとしてサポートされません。

Cisco Unity Connection ディスパッチ メッセージ

Cisco Unity Connection でディスパッチメッセージの配布リストにメッセージと共に送信、このような方法で構成されている 1 つだけユーザがそのメッセージに応答します。ユーザは承諾、拒否、またはディスパッチメッセージを延期することができます。Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco Unity Connection ディスパッチメッセージをサポートしていません。CSCux31908 では、この制限を文書化しています。

エンタープライズグループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカルキャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

連絡先のグループへのメール

連絡先グループに電子メールを送信するとき、**To** フィールドのなかで 2083 字の字数制限があります。電子メールアドレスが長い場合や、受信者が多い場合は、すべての連絡先が電子メールに追加されるとは限りません。2083 文字の制限の詳細については、<https://support.microsoft.com/en-ie/kb/208427>を参照してください。

エクステンション モビリティ

Jabber は、クラスタ間のエクステンション モビリティ (EMCC) 機能をサポートしていません。

エクステンション モビリティを使用したデバイス名

エクステンション モビリティが有効になっている場合、Jabber の制御対象デバイスメニューには、電話機のタイプとユーザ名ではなく、電話機のタイプのみが表示されます。

サイレント (DND)

Jabber がデスクフォンを制御していない場合、サイレント (DND) がデスクフォンに設定されていると、Jabber クライアントのプレゼンス ステータスは変更されません。

この現象は、Jabber クライアントが設計どおりに機能していることを示します。ユーザの操作は必要ありません。

HTML サニタイズ コード

Jabber HTML サニタイズ コードは、フィッシング攻撃の潜在的な乱用に対するため、XMPP メッセージ ペイロードの「マスクされた」リンクを許可しないように変更されています。セキュリティ上の理由から、これらのリンクは許可されなくなりました。

Jabber の管理者が、この機能拡張によって影響を受ける可能性のある潜在的なユーザを教育するようお勧めします。

IBM Notes の連絡先検索

IBM Notes の連絡先を検索するとき、検索文字の 1 つ目に「」または \ を入力すると、正しい連絡先を見つけることができません。

Jabber の設定変更検出のループのシナリオ

UC サービスと電話機ページ / 共通電話機プロファイル用グループ設定ファイルで Jabber 設定プロファイル (jabber-config.xml) を割り当てて、その後高速ログインが有効な場合に Jabber 設定プロファイルを UC サービスから削除すると、Jabber の「設定変更検出」ループが発生す

る場合があります。このシナリオでは、UC サービスから設定プロファイルを削除すると、設定変更検出ループがトリガーされます。

回避策：高速ログインを無効にする（*Cisco Jabber* の計画ガイドを参照）。

Jabber 間通話と Symantec ホスト IDS (HIDS)

Jabber 間通話は、Symantec HIDS のエラーをトリガーできます。

Symantec HIDS は、同じインターネット ベースのサーバから 200 秒以内に 5 回の接続要求を受信した場合、インターネットベースのサーバからの接続を無効にします。たとえば、200 秒以内に 3 回の Jabber 間通話が Symantec HIDS をトリガーします。このとき、進行中の Jabber 間通話が削除され、600 秒の Jabber 間通話は無効になります。

このシナリオを回避するには、Cisco Jabber を Symantec 例外リストに追加する必要があります。この現象については、CSCUw32007 を参照してください。

ミーティング番号によるミーティング参加

Cisco Webex Meeting サーバを使用している導入では、Webex での参加時にミーティング番号を使用することはできません。代わりにミーティング URL を使用します。

Jabber からの Webex ミーティングへの参加

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。この制限は、会議アラームポップアップからの参加、または Jabber での **Webex の参加** の選択のいずれかに適用されます。

Unified Communications Manager 12.5 (1) SU2 を使用した LDAP 資格情報配信

ユニファイドコミュニケーションマネージャリリース 12.5 (1) SU2 では、暗号化された LDAP 資格情報をサービスプロファイルに安全に渡すためのサポートが追加されています。この更新プログラムは、常に暗号化された形式でパスワードを保存し、送信することによって、ディレクトリへのアクセスを保護します。この変更には、ディレクトリアクセス認証、クライアント設定ファイルのダウンロード、BAT インポート/エクスポート、アップグレード時の暗号化が含まれています。

この統一された CM リリース以降の Jabber 12.8 では、エンドユーザ認証の後、ユーザプロファイルの一部として LDAP 資格をダウンロードすることによってこの機能を利用します。

Jabber 12.7 およびそれ以前のこの統一された CM リリース以降では、これらの資格情報をサービスプロファイルから使用することはできません。これらは、暗号化されたパスワードを Active Directory に渡し、それによって接続の障害が発生します。アップグレード済みの Unified CM を使用した Jabber リリースでは、ここに記載されているように jabber-config ファイルを使用して LDAP 資格情報を指定します。

詳細については、『*cisco jabber* の計画ガイド』の「*Cisco Unified Communications Manager and Presence Service 12.5 (1) SU2*」のリリースノートを参照して、LDAP サービスのアカウントに関するセクションを参照してください。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

場所の機能、複数ドメインのサポート

ここで次のような導入シナリオを検討します。

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service のノードを展開すると、すべてのユーザーが単一ドメインのサポートにインポートされました。後でアドレススキームをディレクトリ URI (複数ドメイン対応) に変更しました。

現在地機能は、新しく追加されたドメインユーザーに対しては機能しなくなります。最初のドメイン内のユーザーは影響を受けません。CSCuu63734 はこの制限を文書化しています。

ロジクール キーボード表示の変更

Logitech UC キーボード K725-C の内蔵ディスプレイには、着信コールの発信者やデバイスの情報は表示されません。代わりに、シスコ ロゴが表示されます。

会議のリマインダ

Cisco Jabber は、Cisco Webex Meetings のみのポップアップ リマインダを表示します。Cisco Webex Meetings のリマインダは表示されません。

Webex ミーティングの URL を変更した場合 (たとえば、URL をフィルタするソフトウェアで)、ミーティングアラームまたは [ミーティング] タブから会議に参加しようとしても失敗します。この現象については、CSCux03658 を参照してください。

Microsoft Outlook のローカル連絡先とプレゼンス

ユーザーのプレゼンスは、Microsoft Outlook 2010 および 2013 の連絡先に手動で連絡先を追加する場合、SMTP の電子メールアドレス タイプのローカル (カスタム) 連絡先に連絡先を追加する場合は不明です。この問題を解決するには、連絡先を削除して手動で追加し直し、メールアドレスの種類が Exchange (EX) であることを確認します。CSCuu57172 はこの制限を文書化しています。

Microsoft Outlook OST ファイル

断続的に Windows 版 Cisco Jabber は Microsoft Outlook OST ファイルにアクセスできません。この問題を解決するには、Jabber を再起動し、Outlook を再起動します。

マルチライン

Cisco Jabber は、どの回線からもコールを発信できませんが、別の回線で着信コールが鳴ります。別の回線が鳴っている間、緑色の発信 (Call) ボタンはグレー表示され、使用できなくなります。ユーザは、着信コールが停止するのを待つか、または着信コールを拒否できます。

Microsoft Lync 電話モード展開

Microsoft Lync と同じコンピュータの電話モードで Windows 版 Cisco Jabber を展開する場合、クリック-x (Click-to-x) の機能を無効にします。参照してください、共通インストール引数のセクション、展開ガイド CLICK2X インストーラー スイッチの詳細について。

Plantronics 製アクセサリおよびソフトウェア

Cisco Jabber コール管理に Plantronics アクセサリを使用し、Plantronics Hub をインストールしている場合は、少なくともバージョン 3.5 がインストールされていることを確認してください。プラントロニクス ウェブサイトからプラントロニクス ハブ 3.5 をダウンロードします。

Sharepoint 2016 のプレゼンス インジケータ

Jabber をログアウトすると、プレゼンス インジケータ アイコンがグレーアウトされ、Jabber に再度ログインした後に更新されません。

この現象は、Web ページを更新することで解消できます。これによって、正確なプレゼンス情報が表示されることを確認します。

Real-Time Transport Control Protocol (RTCP)

Jabber は無効にされても RTCP パケットを送信します。RTCP は Jabber テレフォニー サービスの統合コンポーネントです。

モバイルおよび Remote Access を介したリモート デスクトップ制御

モバイルおよび Remote Access を介したリモートデスクトップ制御はサポートされていません。この制限については、CSCuz19139 を参照してください。

電話会議中の参加者の削除

VDI 以外の展開でコールにソフトフォン (CSF) デバイスを使用して通話する場合にのみ、電話会議から参加者を削除できます。デスクフォン制御モードまたは拡張を使用して接続している場合は、電話会議から参加者を削除できません。

SAML シングル サインオンの制約

Cisco Unified Communications Manager サーバで SAML SSO を設定する場合、IP アドレスの代わりに完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用して、サーバー名を定義します。IP アドレスを使用する場合、クライアントは証明書が無効であるメッセージを表示します。FQDN を使用するための要件は、埋め込み Internet Explorer ブラウザがサブジェクト代替名 (SAN) 証明書の IP アドレスを検証できないためです。

同じ理由で、Cisco Unity Connection サーバで SAML SSO を設定する場合、サーバー名を定義するために、IP アドレスの代わりに Cisco Unified Communications Manager Service プロファイルで完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。IP アドレスを使用する場合、クライアントは証明書が無効であることを示す警告メッセージを表示します。

電話専用モードで会議のスケジュールボタンを無効にする

Outlook がインストールされ、Maccalendarintegration typeパラメータが outlook に設定されている場合、[ミーティングのスケジュール (Schedule Meeting)] ボタンが表示されます。ただし、電話専用モードでは、ボタンは表示されません。

シングルナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよびRemote Accessで Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0* の機能構成ガイドのシングルナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

認証情報の空白文字

空白文字および認証情報には、次のルールが適用されます。

- ユーザー名は、社内の展開内のスペースを含めることができます。
オンプレミス展開のユーザー名の最初と最後の文字はスペースにできません。この規則は、ディレクトリソースから同期されたユーザー名にも当てはまります。
- クラウドベースの展開で、ユーザ名にはスペースを含めることはできません。
- どの展開シナリオでも、パスワードにスペースを含めることはできません。

Standard CTI Secure Connection ユーザ グループ

Windows 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security(TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Windows 版 Cisco Jabber ユーザは、標準 CTI セキュア接続ユーザグループに属するときに、CSFデバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。この制約については、CSCux83786 を参照してください。

Cisco Jabber のユーザ ID /電子メールアドレスでサポートされている文字

次の文字は、Cisco Jabber ユーザ ID/メールアドレスでサポートされます。

- 大文字 (A ~ Z) および小文字 (a ~ z) 文字
- 数字 (0 ~ 9)
- ピリオド (.)
- ハイフン (-)
- アンダースコア (_)
- チルダ (~)

TIFF イメージは未対応

このリリースでは、ユーザがアバターとして .tiff 画像を持っている場合、Jabber は代わりにデフォルトのアイコン画像を表示します。個人アバターを使用するには、ユーザーは、jpg、bmp または png 形式などサポートされている形式で画像をアップロードする必要があります。

クリック-X 機能を **Microsoft Outlook** の連絡先を使用してください。

UDS をディレクトリソースとして使用する場合、ユーザーは、Click-To-Call や Click-To-IM などの Click-To-X 機能のみを使用して、既にキャッシュファイルにある Microsoft Outlook ユーザに連絡できます。ユーザの Cisco Jabber 連絡先リストに含まれているか、ユーザが以前に検索、IM、呼び出しを行ったり、音声メッセージを残したりして作成した Cisco Jabber 履歴がある場合、キャッシュファイルが作成されます。

ビデオ コール

[**ビデオの開始 (Start My Video)**] ボタンは、コール接続後すぐに動作しません。ユーザは通話を開始してから約 6 秒間を待ってから、[**ビデオの開始 (Start My Video)**] ボタンをクリックする必要があります。この現象については、CSCuz06415 を参照してください。

サインイン時のボイスメール クレデンシャル ポップアップ

ハイブリッド展開の Webex Messenger、CallManager、Unity Connection のすべてで SSO が有効化され、ボイスメール資格情報をクラウドに保存済みの場合、サインインプロセス中に、ユーザにボイスメールの [資格情報の更新 (Update Credentials)] ポップアップが表示されます。これを回避するには、ボイスメールサーバアドレスをクラウドサーバで設定せずに、サービスプロファイルまたは jabber-config.xml ファイルでのみ設定します。

Cisco 700 シリーズヘッドセットを使用した Windows 10 のクラッシュ

Cisco 700 シリーズのヘッドセットを使用すると、Windows OS のクラッシュ (ブルースクリーン) が発生することがあります。これは、Windows 10 バージョン 1803 以前のバージョンで発生します。この問題を修正するには、新しいバージョンの Windows 10 に更新してください。

制約事項と社内展開の制限

これらの制限は、Windows のオンプレミスの展開用 Jabber に適用されます。

フェデレーテッドの連絡先の追加

シスコでは、ユーザーが会社の連絡先として、フェデレーションからの連絡先を追加することをお勧めします。フェデレーションからの連絡先を追加すると、(**ファイル > ニュー > お問い合わせ**)、カスタムの連絡先としてではなく、カスタムの連絡先としてフェデレーションからの連絡先を追加する断続的な存在の問題が発生することができます。この問題については、CSCuz59060 を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザのデバイスを作成している場合、キーの順序を、**RSA のみ**、**EC のみ**、または **EC 優先で RSA バックアップ**に指定できるようになっています。ただし、Cisco Jabberは現在**EC Only**オプションをサポートしていないため、選択した場合、クライアントはサーバーへの接続に失敗します。

複数リソースのログイン

ユーザーがクライアントの複数のインスタンスに同時にサインインすると、チャット機能はオンプレミス展開で次のように動作します（一般的な展開シナリオでの複数リソースログインの詳細）。

- あるクライアントでサインインすると、他のクライアントでカスタムの可用性状態が「使用可能」に変わります。
- 通話中にアベイラビリティ状態を「通話中」から別の状態に設定した場合、アベイラビリティ状態は、以降の通話の「通話中」に自動的に変更されません。

電話プレゼンス用の SIP トランク

リリース 11.5(3) から Cisco Jabber ユーザー電話の存在を確認する場合、Cisco Unified Communications Manager and IM and Presence Service 間の SIP トランクを構成する必要があります。以前のリリースでは、電話の存在にSIPトランクは必要ありませんでした。この制限については、CSCuz85578 を参照してください。

Sennheiser プラグインに関するポート競合

Sennheiser プラグインを使用するコール制御は、デフォルトでポート 8001 を使用します。別のアプリケーションがこのポートを使用すると、問題が発生する場合があります。

この回避策として、EPOS SDK のポート番号パラメータを適切なファイル内の別のポートに変更することができます。

- Windows : %LOCALAPPDATA%\Sennheiser\SDKCore\PDS\config.dat
- Mac : /Library/Application Support/Sennheiser/SenncomSDK/secomSFSDK.dat



(注) これらのファイルの詳細については、Sennheiser にお問い合わせください。

Jabber をシャットダウンしてから、SDK のポートを変更します。次に、ポートを変更した後に Jabber を再起動します。

クラウド導入の制限事項

これらの制限は、Webex Messenger および Team Messaging Mode の展開の Jabber に適用されません。

エンタープライズグループのユーザのブロック

ユーザーをブロックを妨げないブロックされたユーザーのステータス場合は企業グループの一員としてブロックされたユーザーが連絡先リストに表示されているから。たとえば、ユーザー A がユーザー B をブロックします。ただし、ユーザー A がユーザー B の連絡先リスト企業グループの一員として。その結果、ユーザー B はユーザー A のアベイラビリティステータスを表示できます。

インスタント Webex 会議の招待者

インスタント Webex 会議への招待者は、インスタント Webex 会議に参加する前に、Webex アカウントでプロビジョニングする必要があります。たとえば、ユーザー A は、Webex アカウントを持っていて、Cisco Jabber からインスタントの Webex 会議を開始します。ユーザー A は、Webex アカウントを持っていないユーザー B を会議に招待します。ユーザー B は、Cisco Jabber の会議リンクをクリックすると、エラーメッセージが表示され、ユーザーがミーティングに参加できません。ユーザー B は、インスタントの Webex ミーティングに参加する前に、Webex アカウントでプロビジョニングする必要があります。この制約については、CSCux52068 を参照してください。

Jabber 間通話

Jabber から Jabber への通話機能を使用する場合は、Internet Explorer 10 以降を実行することをお勧めします。以前のバージョンの Internet Explorer または互換モードの Internet Explorer でこの機能を使用すると、Cisco Jabber クライアントログイン（非 SSO 設定）または Jabber to Jabber 呼び出し機能（SSO 設定）で問題が発生する可能性があります。

共通アイデンティティ ユーザ

Cisco Jabber に共通 ID に移行しているいくつかのユーザーの署名に関する既知の問題があります。ログイン情報の入力時に、不正なユーザ名またはパスワードという旨のエラーメッセージが表示される場合、以下のナレッジベースの項目を参照してください。<https://help.webex.com/en-us/yhq7pw/Reset-Forgotten-Password-in-Cisco-Jabber>

Mac 版 Cisco Jabber

これらの制限は、Mac 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての Mac 版 Jabber の展開に適用されます。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

macOS 10.15 の新しい認定要件

Apple では、macOS 10.15 で信頼済み証明書に対する新しい要件があります (<https://support.apple.com/en-us/HT210176>を参照)。ユニファイドコミュニケーション マネージャ、IM およびプレゼンス、および Expressway サーバがこれらの要件を満たしていることを確認してください。証明書がこれらの要件を満たしていない場合、セッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。

Webex サイトに関する免責事項

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。この制限は、会議アラームポップアップからの参加、または Jabber での **Webex の参加**の選択のいずれかに適用されます。

シングルナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0 の機能構成ガイド*のシングルナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

チャットを Microsoft Outlook に保存

Outlook 2016 を使用すると、Outlook はチャットで送信された画像を保存しません。ただし、Outlook では、チャットに絵文字が保存されます。

アップグレード後のオーディオ デバイスの設定

ユーザがクライアントをアップグレードすると、選択しているオーディオデバイスのリセットが発生します。この問題を解決するには、**[オーディオ/ビデオ設定]** ウィンドウでオーディオ デバイスを設定します。CSCva48136 では、この制限を文書化しています。

ウイルス対策

アンチウイルス ソフトウェアを導入しているデバイス上の Cisco Unity Connection にクライアントが接続すると、ボイスメール接続で問題が発生する可能性があります。この問題を解決するには、アンチウイルス ソフトウェアの例外リストに Cisco Unity Connection サーバー情報を追加します。

共通アイデンティティ ユーザ

共通アイデンティティに移行した一部のユーザの Cisco Jabber へのサインインに関して既知の問題があります。ユーザ名とパスワードの入力時に、不正なユーザ名またはパスワードという旨のエラーメッセージが表示される場合、以下のナレッジベースの項目を参照してください。
https://cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できるようになりました。

- RSA のみ
- EC のみ
- EC 優先、RSA バックアップ

ただし、Cisco Jabber は EC のみのオプションをサポートしていません。これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

CTI の接続のための証明書の検証

Cisco Jabber は、CTI 接続に証明書の検証を使用します。証明書の署名には、パブリック CA、またはプライベート CA の使用をお勧めします。

自己署名証明書を使用して Cisco Unified Communications Manager に接続すると証明書検証で障害が発生します。この問題を解決するには次のいずれかを行います。

- 最初の証明書検証で失敗したときに無効な Cisco Unified Communications Manager の自己署名証明書をユーザが承認すると、Cisco Jabber が信頼ストアにこの証明書を保存します。
- 証明書導入管理アプリケーションを使用して、証明書をデプロイします。

Expressway Mobile and Remote Access

Expressway for Mobile and Remote Access 展開の場合、オンライン証明書ステータスプロトコル (OCSP) またはオンライン証明書失効リスト (CRL) を使用して証明書ステータスを確認するとき、Cisco Jabber が 5 秒未満の応答時間が予想します。接続は、応答時間が 5 秒を超えた場合、失敗します。

オーディオまたはビデオ通話での Cisco Jabber を使用時のネットワーク切断

DSCP が有効な場合、Mac OS でネットワーク インターフェイスのドロップが断続的に発生するという既知の問題があります。

この問題に遭遇した場合は、次の操作を実行します。

1. [初期設定 (Preferences)] > [コール (Calls)] > [詳細 (Advanced)] を選択します。
2. [Enable Differentiated Service for Calls] のチェックを外します。

Standard CTI Secure Connection ユーザグループ

Mac 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security (TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Mac 版 Cisco Jabber ユーザは、Standard CTI Secure Connection ユーザグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。

エンタープライズグループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に 1 つずつ解決します。エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに追加するか、または自分のローカルキャッシュをクリアすると、最初は各ユーザのユーザ名とドメインのみが表示されます。その他の情報は、次にマウス オーバーするか、人と対話するときに表示されます。

Bluetooth 接続を Cisco ヘッドセット 56x 使用する場合、サポートされません

Cisco Jabber では、モデル 56x Cisco ヘッドセットで Bluetooth の使用がサポートされていません。これらのヘッドセットは、USB-C から USB コネクタケーブルに使用できます。

Poly ヘッドセットプラグインが削除されました

Mac 版 Cisco Jabber 12.8 では、Poly ヘッドセットプラグインが削除されました。このプラグインで、macOS 10.15 でモニタキーボード入力アラートが発生しました。このプラグインを使用しない場合、Cisco では、ヘッドセットのコール制御 (応答、拒否、保留、再開) をサポートしません。

プラグインの修正がある場合は、Cisco はそのプラグインを Jabber に再追加します。

Cisco 700 シリーズヘッドセットを使用した Windows 10 のクラッシュ

Cisco 700 シリーズのヘッドセットを使用すると、Windows OS のクラッシュ (ブルースクリーン) が発生することがあります。これは、Windows 10 バージョン 1803 以前のバージョンで発生します。この問題を修正するには、新しいバージョンの Windows 10 に更新してください。

ミーティング番号によるミーティング参加

Cisco Webex Meeting サーバを使用している導入では、Webex での参加時にミーティング番号を使用することはできません。代わりにミーティング URL を使用します。

制限事項と社内展開の制限

これらの制限は、オンプレミスの Mac 版 Jabber の展開に適用されます。

Sennheiser プラグインに関するポート競合

Sennheiser プラグインを使用するコール制御は、デフォルトでポート 8001 を使用します。別のアプリケーションがこのポートを使用すると、問題が発生する場合があります。

この回避策として、EPOS SDK のポート番号パラメータを適切なファイル内の別のポートに変更することができます。

- Windows : %LOCALAPPDATA%\Sennheiser\SDKCore\PDS\config.dat
- Mac : /Library/Application Support/Sennheiser/SenncomSDK/secomSFSDK.dat



(注) これらのファイルの詳細については、Sennheiser にお問い合わせください。

Jabber をシャットダウンしてから、SDK のポートを変更します。次に、ポートを変更した後に Jabber を再起動します。

Android 版 Cisco Jabber

これらの制限は、Android 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての Android 版 Jabber の展開に適用されます。

Android 版 Jabber がロケーション情報を受信しない

アプリケーションがバックグラウンドで実行されている間、デバイスのロケーション情報が共有されません。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

Android 版 Jabber は OS と同時にスタートしません

リリース 12.7 では、Android 版 Cisco Jabber は、OS を使用した自動起動をサポートしていません。

Webex サイトの免責事項がミーティングに参加するときに表示されません

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。この制限は、会議アラームポップアップからの参加、または Jabber での Webex の参加の選択のいずれかに適用されます。

Chromebook Camera がすでに使用されている場合にビデオコールが開始しません

Android 版 Jabber は、他のアプリがカメラを使用している場合は、Chromebook からビデオ通話を開始できません。

ボイスメールサーバで不在着信の URI が表示されない場合があります

Cisco Unity Connection の制限のため、Voice Mail サーバは不在着信の URI を表示できません。この問題は、URI からかけられた Cisco Jabber 着信通話を拒否し、発信者とその通話を Voice Mail に回したときに発生します。発信者の連絡先情報に URI しか含まれない場合、Voice Mail サーバに発信者不明と表示されます。連絡先情報に URI と電話番号が含まれている場合、Voice Mail サーバにその連絡先の番号が表示されます。

ビデオコールを開始すると音楽アプリの再生が継続されます

サードパーティのアプリを使用してバックグラウンドで音楽を再生しているときに Android 版 Cisco Jabber のビデオ通話を発信または受信すると、音楽が一時停止または再開されません。この問題を回避するには、サードパーティのアプリを開いて、音楽を一時停止および再開します。

MRA 上での通話に関する音声の問題

2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して Android 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。

Cisco AnyConnect および SafeNet MobilePASS と競合

同じデバイス上で、Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアントとセーフネットの MobilePASS ワンタイム パスワード、そして Android 版 Cisco Jabber を使用すると、これらのアプリケーション間の互換性に起因する問題が発生する恐れがあります。たとえば、Android 版 Cisco Jabber 通信中に音声も片通話も聞こえない、あるいは、転送した場合には遅延が発生する、という可能性もあります。

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、1 つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカルキャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、またはその連絡先と相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できます。

- [RSA Only]
- [EC Only]

- EC 優先
- RSA バックアップ

Jabber による EC のみのオプションをサポートしていないため、それを選択するとクライアントがサーバーへの接続に失敗する場合があります。

MRA 非 SSO 環境でのネットワーク再接続

SSO 非対応のモバイルおよびRemote Access環境で、Jabber が Cisco VCS Expressway サーバへの接続を失ってから次の接続リクエストを送信するまでの間隔は120秒です。この間隔は、複数のクライアントから、サーバへ複数のリクエストが送信されるのを防いでいます。この120秒間はネットワーク接続がアクティブであったとしても、Jabberは非アクティブの状態となります。

Samsung に監視対象外のアプリリスト

Jabber を初めてインストールすると、Samsung デバイスによって Jabber は自動的に監視対象外のアプリリストに追加されます。デバイスは、バックグラウンドで動作している間、監視対象外のアプリをスリープ状態にはしません。しかし、Samsung OS をモニターされていないアプリリストのあるバージョンからアップグレードする場合は、Jabber をモニターされていないアプリリストに手動で追加する必要があります。

Cisco TelePresence Video Communication Server Control 8.10 以前

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよびRemote Accessで Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、Cisco Jabber の機能構成ガイドの「シングルナンバー リーチの有効化」のセクションで制限を参照してください。

Jabber による SSO モードでのサインインの問題

ユーザが SSO モードでの Cisco Jabber へのサインインに問題がある場合、ユーザは Android System WebView と Chrome ブラウザ をアップグレードして問題を解決する必要があります。ユーザは、Google Play Store から Android System WebView および Chrome ブラウザをアップグレードできます。

HTTP 基本 SAML SSO 認証

Reset Jabber オプションを使用してユーザを切り替えると、サインインに失敗する可能性があります。Cisco Jabber をリセットし、Android OS のアプリケーションを完全に停止してからやり直してください。

Tel://URI 機能との問題

URI ダイアルをサポートするサードパーティ製アプリケーションの数が多いため、すべてのサードパーティ製アプリケーションでこの機能の相互運用性を保証することはできません。

サードパーティ製アプリケーションには、tel:// リンクをクリックし Android 版 Cisco Jabber を選択して発信できる機能を持つものがあります。

転送されたファイル名の文字制限 168 字

ファイルを転送するとき、ファイル名は、168 文字 (拡張子を含む) を超えることはできません。それより長い名前のファイルを送信しようとする、168 文字を超えたことが通知されます。

リリース 10.6 から SRST はサポートされていません

Security Survivable Remote Site Telephony (SRST) は、Android 版 Cisco Jabber リリース 10.6 以降ではサポートされていません。

無効な証明書の接続の問題

Cisco Unified Communications Manager 11.0 およびそれ以降のバージョンでは、無効な証明書をすぐに受け入れないと、サーバの接続に問題が発生する場合があります。10秒でプロンプトが表示されたときに無効な証明書を受け入れない場合、一部の HTTPS 接続では、設定の一部をダウンロードできない、電話サービスまたはボイスメールに接続できないなどの問題が発生している可能性があります。

SSO モードでの Jabber 上の Android Webview の影響

Android Webview がリセット、アップグレード、再起動をするとき、SSO アカウントのユーザの場合、Jabberは動作を停止します。

転送されたファイルの圧縮

ファイル転送中は、JPEG ファイル形式のファイルのみが圧縮されます。

Sitetype 「Orion」を使用した MRA および Webex ミーティング

ミーティングの siteTypeが「ORION」の場合、Jabber モバイルクライアントはモバイルおよび Remote Access ネットワークのExpressway 経由で Webex ミーティングを開始できません。

12.7 からの自動認証はサポートされていません

リリース 12.7 から起動時の自動認証はサポートされなくなりました。

コールの応答時に wi-fi がオフになっています

コールのドロップを回避するために、携帯電話ネットワークでコールに応答すると、Jabberが Wi-Fi をオフにします。

クラウド導入の制限事項

これらの制限は、Webex Messenger およびチームのメッセージモードの展開に使用する Android 版 Jabber すべてに適用されます。

チームメッセージモードは **Android Wear** デバイスをサポートしていません

Jabber チームメッセージモードは、Android Wear デバイスの通知をサポートしていません。

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber

これらの制限は、iPhone および iPad 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての iPhone および iPad 版 Jabber の展開に適用されます。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャットメッセージが失われます。この移行期間中にチャットメッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラーメッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

iOS 13 の新しい Apple 証明書の要件

Apple には、iOS 13 で信頼済み証明書に対する新しい要件があります (<https://support.apple.com/en-us/HT210176>を参照)。Unified Communications Manager (Unified CM)、IM およびプレゼンス、および Expressway サーバがこれらの要件を満たしていることを確認してください。証明書がこれらの要件を満たしていない場合、Jabber がセッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。

Webex サイトの免責事項は、Jabber からの参加時には表示されません。

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。この制限は、会議アラームポップアップからの参加、または Jabber での **Webex の参加** の選択のいずれかに適用されます。

2G、3G、および 4G ネットワークを介した MRA の音声に関する問題

2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。

Cisco TelePresence Video Communication Server Control 上の MRA を使用した単一番号リーチ

Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) バージョン 8.10.X 以前の適用

Cisco Jabber を使用するモバイルおよび Remote Access を使用しているユーザに対して、単一の番号リーチを有効にするための編集可能な受信ルールを設定します。詳細については、Cisco

Jabber 12.0 の機能構成ガイドのシングル ナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

[お気に入り] アイコンが電話機のみアカウントで表示されない

モバイルクライアントのための Cisco Jabber は、電話だけのアカウントを持つユーザーのお気に入りアイコンを表示されません。

Jabber で必要な Apple のプッシュ通知

Apple プッシュ通知 (APN) がない場合、Jabber が着信通知やチャットを受信しても、iOS は Cisco Jabber を起動しません。数分後、または Cisco Jabber が前景に撮影されたとき通話やインスタントメッセージがデバイスに表示されます。この問題を回避するには、iOS デバイスで **設定 > 一般的な > リセット > ネットワーク設定のリセット** からネットワーク設定をリセットします。

電話サービスサーバの編集

ユーザーは、ハイブリッドクラウドモードで彼らがいる場合を除き、手動で電話サービスサーバをもはや編集できます。ハイブリッド展開では、管理者は編集可能に電話サービスサーバを構成できます。

セキュアな電話機の機能のための証明書のインストール

セキュアな電話機能を適切に有効にするには、最初に企業ネットワークまたは VPN で適切な証明書のインストールをします。

ボイス認識ボイスメール (Voice PIN)

ボイスメールの音声認識は、バックグラウンドでの雑音に非常に敏感です。システムは、ユーザが何も入力しない場合でも、背景雑音をユーザ入力として認識することがあります。この機能を無効にするには <https://www.Cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-maintenance-guides-list.html> で System Cisco Unity Connection アドミニストレーション ガイドを参照してください。

Unified CM を搭載した中間証明機関を使用しないでください

証明書の検証ウィンドウでは、Unified CM の中間証明機関から発行された証明書を使用します。中間証明機関ではなくルートの署名がある証明書を使用します。

Jabber アカウント関連ファイルは、iCloud および iTunes ではバックアップされません。

リリース 10.5 以降、すべての Cisco Jabber アカウント関連ファイルは、プライバシー上の理由により、iCloud および iTunes にはバックアップされません。この制限には、設定、連絡先、資格情報、履歴、ログ、写真などのファイルが含まれます。

Unified CM でデバイスを設定する場合は、「ECのみ」キーの順序を使用しないでください

Unified CM 11.0 でユーザのデバイスを作成している場合、キーの順序を、RSA のみ、EC のみ、または EC 優先で RSA バックアップに指定できるようになっています。ただし、Jabber は EC のみのオプションをサポートしていません。これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

デバイスがネットワーク間を移動すると、Jabber の再接続が低速になる可能性があります。

ユーザがネットワーク間を移動しようとする場合、たとえば、WiFi から 3G など、バックグラウンドで Jabber を使用すると、クライアントをサーバから切断します。クライアントが数分間再接続しない場合、不在着信につながる可能性があります。ミスコールを避けるために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。

中国では CallKit を利用できません

CallKit 機能は中国では政府/自治体 規制により無効です。

SiteType 「Orion」を使用した MRA および Webex ミーティング

ミーティングの siteType が「ORION」の場合、Jabber モバイルクライアントはモバイルおよび Remote Access ネットワークの Expressway 経由で Webex ミーティングを開始できません。

最大限の信頼性を得るため、iOS では単一番号リーチを使用

ユーザがコールの通知で 100% の信頼性を必要とする場合は、iOS 上で実行される Cisco Jabber の単一番号リーチ (SNR) 機能を有効にします。SNR では、次の制限が緩和されます。

- iOS はリソースを保全するため、バックグラウンドで実行されている Cisco Jabber および他のアプリケーションをシャットダウンする場合があります。クライアントが再起動しようとする、不在着信となる可能性があります。影響を最小化するために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。
- Apple プッシュ通知 (APN) を使用しない場合、デバイスは、スリープモードの時に、Wi-Fi データネットワークからモバイル音声ネットワークに接続を切り替える場合があります。この問題が原因で、不在着信となっている可能性があります。この問題を防ぐためには、iPhone の設定に移動し、**携帯電話のデータ** をオフにするか、**SNR** をオンにします。
- オンデマンド接続が有効であり、ユーザがネットワークを変更する場合に、VPN を切断できます。iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は、VPN を介して再接続するまでに 11 分かかる場合があります。この問題は、着信のミスコールにつながる場合があります。これは、Wi-Fi 信号が安定していない場合、または、モバイルネットワークが優先され Wi-Fi とモバイルネットワークを切り替える場合で、Jabber は移行中のために電話機に迅速に接続することができない場合に発生します。クライアントの再接続後、アカウントで Voice Mail を有効にしているユーザは、Voice Mail に行ってしまったすべての不在着信についての Voice Mail 通知を受け取ります。再接続する時間を最小限に抑えるため、ユーザは接続環境を変更した後に、アプリをフォアグラウンドに移動することができます。影響を最小化するために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。

iOS の Dial Via Office Reverse (DVO-R)

Unified CM で Dial via Office を Reverse (DVO-R) に設定している場合、次の内容を検討してください。

- モバイルネットワークに接続できるデバイスである必要があるため、この機能は iPhone のみに適用され、iPad や iPod Touch のデバイスはサポートしていません。
- この機能を使用するには、Unified CM がリリース 8.6.2 SU4、9.1.2、または 10.x である必要があります。
- 社内ネットワークの外部にいる場合は、Expressway for Mobile and Remote Access 経由で DvO-R コールを行うことができます。DVO-R は、Cisco Expressway X8.7 上および Unified CM 11.0(1a)SU1 でサポートされています。
- DVO が有効になっているデバイスは、Unified CM 8.6 以上での登録時に問題が発生する恐れがあります。Unified CM 管理デバイスから該当するデバイスをリセットすると、この問題が修正されます。
- この機能は、セキュアコール機能とともに使用することはできません。DVO-R が有効な場合、セキュアコールを確立できません。
- ユーザが SIP トランク経由で無効な電話番号に DVO-R 発信をかけると、Unified CM の制約のため、その番号が無効である旨の音声メッセージは流れずに数秒無音になります。

iPhone: パケット損失時の CM ノードフェールオーバーの問題

iPhone の Cisco Jabber がパケット損失のためにプライマリのサブスクリバに到達できない場合、セカンダリの CM ノードにフェールオーバーしません。詳細については、次のサイトを参照してください。 [CSCux83785](#)。

iPhone: 着信モバイルコールは Unified CM コールを保留にします

Unified CM 通話でユーザにモバイルからの着信通話があると、iPhone が鳴りはじめ、ユーザにモバイルからの着信通話に応答するかしないかを促します。これと同時に、Cisco Jabber 上の Unified CM 通話は自動的に保留されます。

iPhone が着信通話を受信すると、自動的に他のすべてのアプリケーションでマイクが無効になります。現在の通話相手へ別の通話に応答する必要があることを知らせる時間はありません。新しい着信を受け入れると、Unified CM 通話は自動的に保留になり、iPhone の通話を終了するまで元の通話に戻ることはできません。この問題を回避するには、着信を受け取らずに、**再開**をタップすると現在の発信者と再び会話ができるようになります。お使いのデバイスがロックされている場合、呼び出しを拒否する 2 回 **On/Off スリープ/スリープ解除** ボタンをすばやく押し、**再開**をタップします。

iPhone: Jabber のサウンド設定を有効にします。

Cisco Jabber のチャットと着信を逃さないようにするには、**[iOS 設定] > [通知センター]** で、Cisco Jabber の音声設定がオンになっていることを確認してください。

iPhone: VoIP コール中に受信した Unified CM 通話がボイスメールに送信されました

Unified CM 通話を受信した場合、VoIP 通話を配置しているときに、クライアントは着信コールをボイスメールに送信します。Voice Mail がない場合には、Jabber はその着信を無視します。

iPhone: アドホック会議の最大参加者

アドホック会議の参加者の最大人数は、TCT デバイス発信の最大人数である 3 人に制限されています。アドホック会議の最大参加者数は、Unified CM の [サービスパラメータの設定] > [クラスター全体のパラメーター] > [必要な最大アドホック会議] で設定します。

iPhone: 一部の接続で品質の問題が発生します。

企業内の Wi-Fi や企業内のモバイル データ ネットワークではない場合、音声とビデオの品質は保証されません。

ビデオ通話の品質は、ネットワーク接続によって異なります。Cisco Technical Assistance Center (TAC) は、3G または 4G ネットワークを使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber を Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント または 別の VPN クライアント と接続する場合、ビデオ品質のトラブルシューティングを行うことができません。

iPhone—SIP ダイジェスト認証

SIP ダイジェスト認証はサポートされていません。

iPhone: ディレトリソースとしての Unified CM のデバイスキャパシティ

ディレトリソースとしての Unified CM は、Unified CM のノードが処理できるデバイスのキャパシティの 50% までスケーリングが可能です。

iPhone: デバイスがロックされたときのコール通知

デバイスが応答不可 (DND) モードでロックされている場合、Cisco Jabber 着信を受信すると振動します。

iPhone: バックグラウンドでの数時間後の Jabber Relaunches

バックグラウンドで数時間経つと、Jabber は通知なしで再起動します。

Apple Watch: コール通知を行わない

iOS 10 で Cisco Jabber 11.8 を使用している場合、CallKit が Apple Watch では動作しないため、Apple Watch で着信通知を受け取ることができません。これは Apple iOS の制限です。

iPad: ネットワーク移行時の不正確なステータス

ユーザがネットワーク間を移動していると、応答可能性ステータスが正確に示されない場合があります。

Cisco Jabber と Cisco TelePresence System

TelePresence またはビデオブリッジを使用してデバイスに接続する場合、Cisco TelePresence System(CTS) デバイスにより、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は相互運用性と最大限のビデオ品質をサポートします。ビデオ通話に参加するために使用できるデバイスの数は、マルチポイントコントロールユニット(MCU)と会議ブリッジで定義されている設定によって異なります。

CTS の相互運用に必要なバージョンと設定
VCS コール制御環境については以下のとおりです。 1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。
Unified CM 通話制御環境: <ul style="list-style-type: none"> • 1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。 • iPad および CTS のメディア領域を作成するには以下の手順に従ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2つの領域のうち、1つ目は CTS 用でビデオ通話の最大ビットレート 3200 Kbps、2つ目は iPad 用でビデオ通話の最大ビットレート 758 Kbps でプロビジョニングします。 2. 手順 1 で説明されているように、CTS 領域から iPad 領域へ領域をリンクさせ、ビデオ通話の最大ビットレートを 512 Kbps とします。
VCS のファームウェアとハードウェア コードックのバージョンを確認するには、Cisco TelePresence System 管理のデバイス情報画面を確認します。

セットアップの詳細については、Unified CM 管理ドキュメンテーションを参照してください。

iPad: 連絡先のブロックと削除

自分の組織内のユーザーの連絡先をブロックすることはできません。

iPad 以外のデバイスで連絡先のグループを削除しても、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber には変更がすぐに表示されない可能性があります。変更を有効にするには、サインアウトし、サインインします。

iPad: 現在の操作が完了する前に Jabber をバックグラウンドに送信しません。

[Webex ミーティング] でサインインやタップをして会議を開始するなどの操作を開始し、その操作が完了する前に iPhone および iPad 版 Cisco Jabber をバックグラウンドに移すと、アクションを正常に完了できません。

iPad: Webex ミーティングを開始します。

[Webex ミーティング]をタップして会議を開始する場合、システムにより会議の招待状は会議の開始時点もしくは会議が開始してから60秒経過した時点で送られます。

iPad: Jabber がバックグラウンドに登録されているとき、録音インジケータが誤って起動します。

Cisco Jabber 通信中に Cisco Jabber をバックグラウンドに移動させると、IOS バージョンによっては発信インジケータが Cisco Jabberが録音中である旨を表示することがあります。

複数リソースのログイン

ユーザーが、クライアントの複数のインスタンスに同時にサインインした場合、チャット機能は次の動作をします。

- 最初のチャットの受信中のメッセージは、すべてのクライアントに送信されます。
- 受信チャットメッセージに応答する最初のクライアントが、後続のすべてのメッセージを取得します。他のクライアントは、これらの後続の受信メッセージを取得できません。
- クライアントがチャット機能を5分間の使用しないときに、次の受信メッセージはすべてのクライアントに再び送信されます。

エンタープライズグループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカルキャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

クラウド導入の制限事項

これらの制限は、Webex Messenger およびチームのメッセージモードの展開に使用する iPhone および iPad 版 Jabber すべてに適用されます。

Apple Watch: TMM では通知がサポートされていません

通知は Jabber チームメッセージモードの Apple Watch ではサポートされていません。